

令和3年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称 交通安全教室(高崎市)

評価された点

・交通安全について子どもに分かりやすく伝えている。アニメやパペットを使い、子供が興味を持ち、親しみがわいてくる仕掛けにしている

・このコロナ禍ならではの動画である。保育園での実演ではなく、何かできないかと考慮に考慮を重ねて啓発活動のために動画を制作したのだろう。指人形を使って保育児童たちにわかりやすく説明するという企画は評価に値する。それも指人形を現場で実写で撮影するというのは、人形の動きや画角を考えなければならず、制作時にもかなり苦労されたと推測できる。パペットの衣裳やアニメーション、声なども含め、短期間で職員が23分あまりにもものぼる長尺の動画をうまく制作できたと思う

・「とまとせいじん」の魔法のことばやクイズを盛り込むなど、普段から子どもたちの興味などを知り尽くしているからこそできる内容だと思う。横断歩道や駐車場、縁石を歩くなど、ポイントが絞られていて、分かりやすかった

・パペットを使った番組作りは昔からある手法だが、市町村の広報動画で見ると思っていなかったのである意味新鮮。子どもの気を引くよう、飽きさせないように構成もよく考えられてたと思う。声の出演もしっかりしていて、安心して見ていられた

・内容の切り替え時のブリッジ音楽や、「ピンポン」「ブブー」などの効果音も上手く使っていた。パペットにフォーカスを合わせて、背景がうるさくならないようにしていたのも良かったと思う

・出演者の声が聞こえやすい

・アニメーションの取り入れ方が分かりやすい

令和3年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称 ようこそ千代田町へ2016-2019(千代田町)

評価された点

- ・町のさまざまな表情をとらえた映像が目を引く
- ・町の様子を4年にわたって撮りためて編集し、制作したのには敬服する。いずれも映像がとてもきれいで自主制作とは驚いた。YouTubeに掲載し、9か月間で850回も再生されるほど、町が注目されているのだろう。千代田町の特徴のある場所や行事を退屈しないよう、ピックアップされていた点も評価できる
- ・町のPRということで、ずっと「群馬県邑楽郡千代田町」の字幕を出しているのは良かったと思う
- ・映像もパンやズームなどを使わず、のんびりとみられるカメラワークで、結果的にきれいに見えたし、一つ一つの項目の尺も悪くなかった
- ・映像が美しい。アングル、色ともに良い
- ・素晴らしい景色や風物がギュッとつまって町の魅力をアピールできていると思う
- ・ナレーションを入れずに、文字で処理したのも正解だったと思う。受け取る側が自由にイメージを広げられるので良いと思う
- ・BGMと映像で魅せる構成はわかりやすくテンポも良い

令和3年市町村広報コンクール審査票(映像)

○映像作品の名称 くわまるからのおねがい「新しい生活様式編」(伊勢崎市)

評価された点

- ・コロナの感染予防について、分かりやすく市民に呼び掛けている
- ・コロナ禍のなか自主制作し、5月から放映しているのは、職員の方々の意気込みが感じられる
- ・ピクトグラムで生活様式を表現し、地元の人たちだけでなく、広く外国人にも分かりやすくなっている点は評価したい
- ・やさしい感じの音楽で駅の自由通路や駅前インフォメーションセンターなどで流されると、ちょっと見たくなる動画だと思う
- ・日頃の家庭生活だけでなく、飲食店や買い物、運動や職場などに至るまで、さまざまな面での心がけを紹介し、おそらくネットでの公開は全国、世界からもアクセスがあったのではないか。要所要所で世界遺産のPRキャラクターが呼びかけをするという斬新なアイデアはよい
- ・伝えたいポイントが明確で、その内容とピクトグラムの利用がマッチしている
- ・シンプルな内容だが、文字やイラストをスライドさせたり、フェードさせることで変化を付けて飽きさせない作りになっている
- ・オルゴール調の曲はイメージが合っている
- ・短い説明で視認性が高い
- ・ピクトグラムを使用し、ユニバーサルデザインを意識した作り方
- ・時には写真を使用し、分かりやすさを優先している